

団体名		公益財団法人武蔵野市福祉公社						
①	指標名	権利擁護事業の利用者増			目標値	320人	実績値	269人
	過去の実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率	84.0%	達成状況	未達成
	(単位:人)	304	293	286				
	取組内容	・令和7年度は新規事業「入退院・没後サポート事業」を本格実施を実施した。 ・新事業を含む権利擁護事業の説明会を15回実施した。 ※本指標の利用者数はつながりサポートおよび入退院没後サポート事業、地域福祉権利擁護事業、成年後見受任事業、生活保護金銭管理支援事業の年度末利用者数の合計とする。(64+2+36+121+46)						
	一次評価	・新事業「入退院・没後サポート事業」は新規契約者数3人、死亡数2人となり年度末利用者数は2人となった。 ・今年度実施した結果、振り返りを行い、課題があれば見直す。また、積極的に市民及び関係者へ広報を行い、さらなる利用者数増を目指す。						
二次評価	利用者数は減少傾向が続いている。新事業「入退院・没後サポート事業」をはじめとして、各事業の広報を積極的に行うなど、利用者増に向けた取組みを検討されたい。							
②	指標名	職員の労働生産性の伸び率（前年度比）			目標値	2%	実績値	27.8%
	過去の実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率	1390%	達成状況	達成
	(単位:%)	▲18	▲10.8	7.1				
	取組内容	・通所介護については、新規利用者の獲得に注力し、高齢者総合センターでは78.6%から80.6%に、北町高齢者センターでは83.0%から89.7%に、平日平均稼働率を向上させた。 ・令和7年度は、大学等新卒者3名、福祉経験者3名を採用し、必要な職員を確保できた。 ・職員給与及び賞与の改定を東京都の給料表等を参考に実施した。 ・新社屋の建替えに伴い、備品・什器類の更新を行った。 ・電子承認システムを導入し、ペーパーレス化を推進するとともに、パソコンを更新した。						
	一次評価	・労働生産性の実績値は、キャリアアップ助成金の申請等で活用する生産性要件算定シートにより算出し、令和7年度は、人件費の増及び新社屋建替えに伴う支出増により目標値を大幅に超えた。 ・給与改定により、職員の収入が増えモチベーションアップにつながった。 ・新社屋の建替えでは、職場環境を改善し、職員が働きやすい環境を整備したため、今後大幅な労働生産性の向上が見込まれる。						
二次評価	必要な人材を確保し、DXの取組みを積極的に進められ、各施設の稼働率の上昇につながられている点を評価する。引き続き効率的な事業運営に取り組まれ、事業内容の充実につなげていただきたい。							
③	指標名	人材育成基本方針に基づく人材の育成及び人材の確保			目標値	職員研修計画に基づく研修の実施	実績値	方針の運用
	過去の実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率	100.0%	達成状況	達成
	(単位:)	方針の運用	方針の運用	方針の運用				
	取組内容	・人材育成基本方針に基づき作成した研修計画に基づき、人材育成を行った。 ・大学新卒者3名にはOJT担当者を付け、丁寧な研修を行い、福祉公社職員としての資質の向上と育成を図った。 ・事業報告会では、他部署を紹介することをテーマとし、職員同士の連携が深まった。 ・福祉のおしごとフェア、メタパースのおしごとフェアに参加した。						
	一次評価	・令和7年度は、大学新卒者3人、専門職3人を採用し、研修計画に基づき、育成を行っている。 ・令和8年度卒大学等新卒者採用について既に3人に採用内定を出すことができている。令和9年度卒大学等新卒者採用については、採用方法の見直しも含め検討し、必要人数の採用を目指す。						
二次評価	採用活動に積極的に取り組まれ、必要人数の採用を達成されている点を評価する。計画的に研修を実施し、人材育成に適切に取り組まれている。							